

☆TAC!! 公式アカウント 友達募集中☆

TAC公式LINEアカウントではTACの皆様が日々担い手に訪問する際に
話のネタになる情報や営農技術関係の情報などを配信しています。
ぜひご登録ください！

■登録は右のQRコードからお願いいたします■



お知らせ

■山形県本部「担い手営農サポートシステムの説明会」を開催 NEW

山形県本部 営農企画部営農支援課は、12月26日（金）にJAさがえ西村山で担い手営農サポートシステム（以下NEサポシステム）の説明会を開催しました。説明会ではJA全農の担当者と営農支援課職員が講師として、NEサポシステムの概要や主な機能の紹介を実施しました。その後、JA職員の方にデモ機を使用して実際に担い手情報や面談記録の登録・作成を行っていただきました。山形県本部では今後もJAのTAC活動・出向く活動について、積極的にサポートしてまいります。



【研修会の様子】

■本所施設園芸企画課からお知らせ NEW

【トレーニングセンター幸手 研修者三次募集開始】

本所 施設園芸企画課では、令和8年に埼玉県幸手市に設置する「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」（埼玉県幸手市）にて、第一期研修者の三次募集を開始いたします。

栽培品目	トマト・ナス・キュウリ
研修期間	令和8年10月～令和10年9月（原則2年間・応相談）
研修費用	無料
雇用契約	本会の臨時職員として雇用（更新期間の定め・更新上限あり）
賃金	時給1,141円（令和7年11月現在。埼玉県の最低賃金に準ずる）
就業時間	8：30～17：00（繰り上げ・繰り下げあり）
応募資格	① 普通自動車運転免許必須（AT限定可） ② 入会時に住民票がある地域のJA組合員になる方 ③ 10年以上営農を継続できる方 ④ 性別、農業経験の有無は不問
応募方法	① 「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」研修（求職）申込書 ② 履歴書 上記2点をHPよりダウンロードいただき、事務局へメール送付ください。
応募期限	令和8年3月31日（必着）

より詳細な情報については、HPに掲載の研修者募集要領をご覧ください。

[HPはこちら]⇒[（ゆめファーム全農 トレーニングセンター幸手の紹介 | JA全農）](#)

【WEB個別説明会 随時開催中！】

下記URLよりお気軽にお申し込みください。

[個別説明会申込はこちら]⇒<https://forms.office.com/r/yDVfGbDY2y>

【新・農業人フェア2025 出展！】

日時：2026/2/11（水・祝） 10：00～16：00

場 所：東京都（東京交通会館ダイヤモンドホール）

今回は雇用就農に特化したイベントです。農業にご興味がある方、トレーニングセンターの研修にご興味がある方、ぜひお待ちしております

[HPはこちら]⇒<https://agri.mynavi.jp/shin-nogyojin/>

今後も都度HPやTAC通信・TACLINE等を用いてこまめに発信していきますので、引き続きよろしくお願いいたします！

■本所TAC・営農支援課 担い手の労務管理情報を配信します！

農業分野の労務課題について情報を配信します。1/14 配信号からスタートです。

社会保険や雇用制度など、労働環境整備のための情報をお届けします。

◆記事はこちらから

■本所TAC・営農支援課 労働力支援に関する役立つ情報を配信します！

本所TAC・営農支援課は、労働力支援に関する役立つ情報をTAC通信で配信をしていきます。

優良事例や、協議会等の報告など労働力支援常設コーナーに、毎月1回お届けします。

是非ご覧ください！

[労働力支援に関するお知らせはこちらから！](#)

■三重県本部 出向く活動のレベルアップへ「パワーアップ大会」を開催（12/9）

三重県本部 営農対策部は12月9日、津市のプラザ洞津で「三重県出向く活動パワーアップ大会」を開催しました。JAの出向く担当部署の担当者・管理者、JAグループや県の関係者52人が参加しました。

本大会は、地域農業の担い手に出向くJA担当者の活動の成果を共有し、相互研鑽とモチベーション向上をはかり、担い手との信頼関係を継続・醸成するためのスキルアップを目的としています。

県内でブドウを生産している農業経営者からの講演では、基本に忠実に取り組んでいることや、着色と風味のよいブドウに仕上げる工夫などを紹介しました。

県内の出向く活動事例として、JAみえなかから「担い手営農サポートシステム」を活用した活動の「見える化」の取り組みや、課内で編成したチームごとの目標設定と取り組み推進について報告しました。

県外の出向く活動優良事例では、滋賀県大津市など6市を管内とするJAレーク滋賀から、地区別チーム編成による地域農業の課題解決に向けた取り組みや、ドローンを活用した防除・施肥の受託作業の取り組みなどを説明しました。



【講演する農業経営者】

■岡山県本部「岡山県JA担い手推進活動県外視察研修（福岡県）」を実施（12/8）

岡山県本部とJA岡山中央会は、県内JAの出向く体制強化を目的に、営農DXと新規就農者支援事業の先進地・福岡県で視察研修を実施しました。研修では、JAくるめの「担い手営農サポートシステム」による業務量把握や訪問管理、「nimaruJA」を活用した一斉通達による省力化など、先進的なDX事例が紹介されました。DX化を検討する県内JAにとって同システムの運用体制整備は課題であり、意見交換は熱を帯び、参加者からは「解決の糸口が見えた」との声もありました。また、福岡県本部にはNJアグリサポートのイチゴの新規就農者支援事業を紹介いただき、高収量を実現する栽培技術を持つ講師陣、施設利用を含む研修体制、臨時労働力の補填など、県内での支援促進に向けた学びを得る機会となりました。



【営農DX事例紹介に熱心に耳を傾ける研修参加者】

■岡山県本部「JA職員向け園芸用ハウス組み立て実習」を開催しました（12/7）

岡山県本部は12月7日、「営農指導員強化研修」の一環として園芸用ハウス組み立て実習を行いました。

同研修は3年間を通じて土壌・肥料技術、病害虫管理、農業経営などを学び、出向く活動に必要な基礎知識習得と技術力向上を目的に開催しています。今回の実習では、資材メーカーと全農生産資材課を講師に迎え、連棟ハウスの組み立てを実施しました。約20名が参加し、高所作業や手作業の難しさ、圃場の傾斜に対して水平を保つ重要性を実感しながら、ポイントを確認しました。

完成したハウスは、営農指導員の実習施設として特産花の栽培や指導に活用する予定です。岡山県本部は今後も地域農業に寄り添う営農指導員育成に向け、多様な研修を企画してまいります。



【ハウス建ての様子】

経営・労務相談

■担い手対応の経営相談

担い手を対象として経営に関する相談を行っています。 経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、以下の相談票に記入の上、本所TAC・営農支援課まで送付ください。

※無料ですので、積極的にご活用ください。

経営・税務相談票は[こちら](#)

■担い手の労務管理情報を配信します！

農業分野の労務課題について情報を配信します。1/14 配信号から隔月連載しています。社会保険や雇用制度など、労働環境整備のための情報をお届けします。

◆記事はこちらから [Click here](#)

◇今後の配信スケジュール

TAC通信（奇数月第2水曜日掲載）／TAC LINE（奇数月第3月曜配信）
担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_18（TAC広報・情報誌）にも格納します。

■農業経営支援に関する役立つ情報を配信します！NEW

農業経営支援に関する役立つ情報をTAC通信、TAC LINEで配信をしていきます！
実際に合った事例や、過去の対応・決算データ等を基に現場のTACに分かりやすい形でお届けします。

◆記事はこちらから [Click here](#)

◇今後の配信スケジュール

TAC通信（毎月第4水曜日掲載）／TAC LINE（毎月末配信）
担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_17（新規就農・事業承継・税務相談）にも格納します。

配信月 | テーマ

○ 節税のポイント！を全5回シリーズで解説！

- 5月 農地の取得・保有・譲渡編
- 6月 設備投資編（スマート農業、環境負荷軽減）
- 7月 青色申告編－①
- 8月 青色申告編－②
- 9月 法人化編

○ 事業承継支援に向けた担い手の経営税務に係る チェックポイントを全5回シリーズで解説！

- 10月 集落営農法人の事業承継
- 11月 個人親子間
- 12月 法人親子間
- 1月 個人第三者承継
- 2月 法人第三者承継

○ これだけはおさえておきたい！インボイスを解説！

- 3月 経過措置への対応策について

◆アンケートはこちらから！

農業経営支援に関する上記の記事の感想、今後取り扱ってほしいテーマなど皆さんのお声を気軽にお聞かせください！

技術情報

■農研機構 技術情報 「高病原性鳥インフルエンザを迅速・簡便に判定する新たな遺伝子検査法」

(農研機構HPへリンク) NEW

今回は、高病原性鳥インフルエンザを迅速・簡便に判定する新たな遺伝子検査法の研究成果を紹介します。

本検査法は、鳥インフルエンザを引き起こすA型インフルエンザウイルスが持つ複数の遺伝子を同時に検出し、鳥インフルエンザウイルスの同定と病原性に関わるヘマグルチニン(HA)亜型(H5又はH7)の判定を可能にするリアルタイムRT-PCR法であり、検査の迅速化と省力化に貢献できる。

※農研機構プレスリリース・普及成果情報は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_ (TAC広報・情報誌)にリンクを貼付しています。

(出典：農研機構HP 普及成果、研究成果より)

～全農は、農業現場が抱える課題の解決に向けて、農研機構と連携し、新技術・新品種の産地提案や実証試験を通じた普及推進に取り組んでいます～

■農業研究室 技術情報 冬場のヒメトビウンカ防除

(アピネス／アグリインフォHPへリンク) NEW

今回は「冬場のヒメトビウンカ防除」です！

今年度のヒメトビウンカやイネ縞葉枯病の発生状況はいかがでしたでしょうか！？ 冬場の雑草管理をしっかりと、次年度のヒメトビウンカの量を減らしましょう！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」04_ (農業)にも格納します。

(出典：アピネス／アグリインフォHP 営農情報より)

農業労働力支援

■全農本所TAC・営農支援課 「全国労働力支援協議会」の開催

本所TAC・営農支援課では、全国6ブロックに設置したブロック別労働力支援協議会での協議を踏まえ、農業労働力支援を通じた地方創生・地域活性化を目指す「全国労働力支援協議会」を令和4年3月に設立し、設立以降毎年開催しております。

6ブロックの協議会(北海道、東北、関東甲信越、北陸東海近畿、中国四国、九州)と、全中、全共連、農林中金、全農およびパートナー企業を構成団体とし、オブザーバーとして農水省他関連省庁や関係企業等にも参加いただいています。

今後、本所TAC・営農支援課は協議会を通じて、①農業への多様な人材の活用促進、②農業以外の他産業との連携促進、③後継者誘導しやすい環境づくりの促進を目指し、農業だけでなく地方が抱える課題の共有と解決に向けた取り組みを進めます。

■全農本所TAC・営農支援課 「91農業」の提唱

本所TAC・営農支援課は、様々な方々に農業参加を促す新たなライフスタイル「91農業」を提唱しております。

他産業・一般の方々に向けて、①農業へのハードルを下げて農業参加を訴求すること、②パートナー企業連携による農作業請負の取り組みを広く周知すること、等を目的として「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか？」をコンセプトに、少しでも多くの方が農業に関われるような環境を目指して全国労働力支援協議会とも連携しポスターやHP等でPR活動を進めています。



- 9本業1農業：休みの日に1日農業、新しい副業の形
- 9育児1農業：子育てしながら一時期に農業、新しいパートの形
- 9旅行1農業：旅行の1日に農業、新しい旅行の形
- 9夢追1農業：夢を追いながら一時期に農業、新しいバイトの形
- 9自宅1農業：家以外に居場所が一つ増える、新しい就労支援の形



事業承継

■全農本所TAC・営農支援課 「事業承継支援 虎の巻」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆様に「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて本所TAC営農支援課にご連絡ください！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_ (新規就農・事業承継)にも格納済みです。ご活用ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では訪問チラシ「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」を作成しています。Z-GISの推進および事業承継の啓発の際にご活用ください。こちらからご確認いただけます。

■全農本所TAC・営農支援課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」のご案内

全農本所TAC・営農支援課ではJA全国担い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しています。

ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

手引きは、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■全農本所TAC・営農支援課 事業承継啓発チラシ親子別Ver.のご案内

全農本所TAC・営農支援課は、事業承継啓発に係るツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しています。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいものとなっていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

本所TAC・営農支援課は「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック部会版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

本所TAC・営農支援課では各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック集落営農版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農HPは[こちら](#)

Z-GIS

👏！！Z-GIS の動画のご紹介！！



全農本所スマート農業推進課が、新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。
Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■本所スマート農業推進課 ～スマート農業の先進事例を見てみよう！～「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行（ご案内）

本所スマート農業推進課では、Z-GIS・ザルビオの利用促進、さらなる普及拡大を目的に、令和元年度のZ-GIS導入ガイドから始まり、令和4年度は「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行しました。

各システムのユーザーである全国の生産者、JAにインタビューを実施し、計8事例掲載しております。また、ガイドの冒頭2ページに、Z-GIS・ザルビオを導入いただいたユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付登録までの手順を掲載しております。

冊子をご要望の方は、本所各営農資材事業所、本所スマート農業推進課までご連絡ください。また、Z-GISホームページや担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）でもPDF版を公開しております。

活用ガイド2023/2024は[こちらから](#)ご覧いただけます。

人材育成（TACアグリビジネススクール、他各種研修資料等）

■全農本所TAC・営農支援課 令和7年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

令和7年度のTACアグリビジネススクールについて、日程が決定いたしましたので下記の通りご案内いたします。

※第8～10回で開催時間の変更がありましたので、ご確認ください！ 2025/7/9 更新

回	日程	時間	テーマ
---	----	----	-----

1	6／3（火）	10：00～15：00	農業を取り巻く情勢・取り組み
2	7／9（水）	10：00～15：00	生産資材・技術情報①
3	8／5（火）	10：00～15：00	農業労働力支援・相続・事業承継
4	9／3（水）	10：00～15：00	農業現場における労務管理・会計基礎
5	10／8（水）	10：00～15：00	会計・税務研修①
6	11／5（水）	10：00～15：00	会計・税務研修②
7	12／3（水）	10：00～15：00	会計・税務研修③
8	1／7（水）	10：00～15：00	総合事業連携の取り組み
9	2／4（水）	10：00～15：00	生産資材・技術情報②
10	3／4（水）	10：00～15：00	販売強化の取り組み

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■全農本所TAC・営農支援課 TACアグリビジネススクール収録動画の格納について（ご案内）

本所TAC・営農支援課は開催した「TACアグリビジネススクール」の講義内容の動画をYouTubeに限定公開しています。

動画URL・講義資料は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）にも格納済みです。

■「TACの手引き」、「TAC担い手訪問ハンドブック」

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」について担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）に掲載しました。ご活用ください。

貸出資材

■全国共通資材の貸出

○のぼり、ハッピー、テーブルクロス

貸出申請書は、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC広報・情報誌）22_（店舗・イベント）に格納されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

○タペストリー

本所TAC・営農支援課は「TACパワーアップ大会2025」の開催にあわせ、TACタペストリー一覧を更新しました。イベント時などにご使用ください。

なお、使用時は「TACタペストリー貸出しマニュアル」のご一読をお願いします

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」12_（パワーアップ大会・営農指導員大会）にも投稿します。

担い手営農サポートシステム関連情報

■担い手営農サポートシステムの利用申請について

利用申請（新規、再登録、削除）については、Web上で実施していただきます。

（URL：<https://zennoh.my.site.com/entry>）

以下登録の手順をお知らせいたします。

①上記URLを開き、必要事項を入力

②入力内容を確認し、利用規約に同意する

- ③入力した内容が記載されたPDFがダウンロードされる
- ④申請情報で入力したアドレス宛に申し込み完了メールが送信され、PDFアップロードリンクが記載されている
- ⑤ダウンロードされた担い手サポート管理システム申請書PDFを印刷し、「情報機器管理者」「管理者」「担当者」欄に押印する
- ⑥PDFアップロードリンクに押印したPDFをスキャンしてアップロードして完了
- ⑦ヘルプデスクが入力内容を確認し、問題なければ、アカウント発行処理が実施される

詳細は担い手営農サポートシステムのナレッジに格納しております。
(ナレッジURL : https://zennoh.lightning.force.com/lightning/r/Knowledge_kav/ka02x000000WRyxAAG/view)
※ナレッジは担い手営農サポートシステムユーザーのみ閲覧可能です。

■ヘルプデスク連絡先
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスクエア新宿9階
株式会社 全農ビジネスサポート
担い手営農サポートシステムヘルプデスク
TEL : 03-3350-1157
Eメール : ninaite-help@z-bs.co.jp

ランキング集計

【 12月 】 月間ランキング

JA別-面談記録登録状況 TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/12/01 ~ 2025/12/31)					(訪問期間:2025/12/01 ~ 2025/12/31)				
	JA名	件数	訪問人数	一人当たり		JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	2,247	66	34.0	1	JA柏屋	300	2	150.0
2	JA仙台	1,448	36	40.2	2	JA京都にのくに	149	1	149.0
3	JA金沢市	1,354	26	52.1	3	JAあさか野	810	6	135.0
4	JA南彩	1,263	11	114.8	4	JAよこすか葉山	789	6	131.5
5	JAさいたま	1,216	15	81.1	5	JAあきた北	743	6	123.8
6	JAむなかた	1,177	12	98.1	6	JAさいかつ	483	4	120.8
7	JA常総ひかり	1,070	16	66.9	7	JA足利	239	2	119.5
8	JA岡山	967	32	30.2	8	JA南彩	1,263	11	114.8
9	JA水郷つくば	906	31	29.2	9	JAなす南	427	4	106.8
10	JAフルーツ山梨	895	25	35.8	10	JAむなかた	1,177	12	98.1

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計
★1月13日登録までの集計

【 1月12日 ~ 1月25日 】 週間ランキング集計

JA別-面談記録登録状況 TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2026/01/12 ~ 2026/01/25)					(訪問期間:2026/01/12 ~ 2026/01/25)				
	JA名	件数	訪問人数	一人当たり		JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	650	46	14.1	1	JA柏屋	182	2	91.0
2	JA仙台	618	35	17.7	2	JAよこすか葉山	423	6	70.5
3	JAさいたま	508	15	33.9	3	JAなす南	243	4	60.8
4	JA金沢市	469	19	24.7	4	JA福岡大城	51	1	51.0
5	JAむなかた	464	11	42.2	5	JAしまね 西いわみ地区本部	136	3	45.3
6	JAよこすか葉山	423	6	70.5	6	JAあさか野	262	6	43.7
7	JA兵庫南	401	14	28.6	7	JA南彩	390	9	43.3
8	JA南彩	390	9	43.3	8	JAむなかた	464	11	42.2
9	JAえひめ未来	339	18	18.8	9	JAふくおか八女	80	2	40.0
10	JA常総ひかり	308	10	30.8	10	JA筑前あくら	119	3	39.7

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計
★1月27日登録までの集計

最近のメディア

- スマート農業情報
[Z-GISのアップデート情報（積算気温抽出機能）](#)
※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）に格納
- グリーンレポート1月号
[新技術セミナー～平坦地におけるスマート農業機械の活用～](#)
[JAと連携した農業普及活動～京の新特産品「京おくら」の普及～](#)
[営農アシスト～生命共済を活用した“相続・相続税対策”について～](#)
[担い手とともに～JA 夢みなみ「みえるらべる」取得による販路拡大～](#)

○経営実務 11・12月号

いまこそTACだ!! 島根県 JAしまね 菊地雅也氏

いまこそTACだ!! 岡山県 JA岡山 池内伸治氏

○地上2月号

※「地上」の公式HPは[こちら](#)から。

○全農ウィークリー

[2026年1月26日 \(vol.1135\) NEW](#)

※TAC活動の紹介等で転載する場合は申請不要です。

○AGRI FUTURE

[No. 110 \(JAわかやま\) 発行 \(6/25\)](#)

◆生産者の声：新しょうが／すもも／南高梅（なんこううめ）

◆クローズアップ：新しょうがレシピ

◆地域百景：日本一の梅ブランド／和歌山県の「すもも」

フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付 HPは[こちら](#)

○全農HP

○「全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）」 JA全農が優勝選手に国産黒毛和牛&全農直営店舗の食事券を贈呈 ～男女シングルス日本一は松島輝空選手と張本美和選手～[NEW](#)

○「全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）」 JA全農が「ジュニアの部」優勝選手に国産黒毛和牛&全農直営店舗の食事券を贈呈 ～ジュニア日本一は川上流星選手と張本美和選手～[NEW](#)

○「JAアクセラレーター第8期」募集開始！ テーマは「食と農、くらしのサステナブルな未来を共創する」[NEW](#)

○農業協同組合新聞

○「動かぬ新米」くつきり、1人当たり米消費の前年割れ10ヵ月連続 米穀機構12月調査 [NEW](#)

○日本農業賞 集団の部大賞 飛騨野菜出荷組合 倉吉西瓜生産部会 吉備路もも出荷組合 [NEW](#)

○鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)

○お米はあって当たり前ではない 米の有識者懇話会 全農 [NEW](#)

○【26年度飲用乳価交渉】関東で「据え置き」 業界挙げ消費拡大へ [NEW](#)

○みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践(94) マレイミド（求電子系）【防除学習帖】第333回 [NEW](#)

○農薬の正しい使い方(67) 光活性化による毒物の生成タイプの除草剤の作用機作【今さら聞けない営農情報】第333回 [NEW](#)

○スーパーの米価 5kg4283円 前週比で16円上がる [NEW](#)

○鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)

○【JA全農 水稲直播栽培研究会】「湛水直播」「乾田直播」の可能性を探る(1) [NEW](#)

○【JA全農 水稲直播栽培研究会】「湛水直播」「乾田直播」の可能性を探る(2) [NEW](#)

○【JA全農 水稲直播栽培研究会】直播は水田農業の中核技術に 梅本雅氏(3) [NEW](#)

○【JA全農 水稲直播栽培研究会】ドローン湛水直播で規模拡大も可能に ヤンマーアグリジャパン(4) [NEW](#)

○【JA全農 水稲直播栽培研究会】技術革新と行政支援が課題 JA全農耕種総合対策部(5) [NEW](#)

○【JA全農 水稲直播栽培研究会】宮城県で増える乾田直播 県本部が核となり実証(6) [NEW](#)

○【JA全農 水稲直播栽培研究会】農機、肥料、農薬の資材と技術を解説 耕種資材部(7) [NEW](#)

○鳥インフル ポーランドからの家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)

○26年産の米生産、「見通し」から上振れか 「目安」増やす県も 生産調整より難しく [NEW](#)

○【サステナ防除のすすめ】スマート農業の活用法(下) 勘からデータで正確に [NEW](#)

○米 4割の銘柄で下落 25年産米相対取引結果 [NEW](#)

○新技術「スマート飽差制御」いちご「さぬき姫」の収穫量を18.5%向上 農研機構 [NEW](#)

○鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)

○鳥インフル ブラジルからの家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)

○JAグループと生協グループが「よりよい営農活動」で連携 [NEW](#)

○【中酪受託乳量】2ヵ月連続減産 都府県5000戸割れ目前 [NEW](#)

○ゲノム編集で長持ちメロン誕生 廃棄リスクの低減と海外輸出にも期待 農研機構 [NEW](#)

○みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践(93) キノキサリン（求電子系）【防除学習帖】第332回 [NEW](#)

○農薬の正しい使い方(66) 植物色素の生成阻害タイプの除草剤の作用機作【今さら聞けない営農情報】第332回 [NEW](#)

○スーパーの米価、2週ぶりに低下 前週から149円下がり5kg4267円に 米からパン、めん類にシフトか [NEW](#)

○近づく限界、米価に暴落懸念 「2014年の再来」防げるか [NEW](#)

○病害虫発生情報

※ 本リンクは、インターネット上にある新聞や各種情報のうち、TAC・営農支援課が担い手に関する内容を収集して作成しています。

全農本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課

TEL:03-6271-8276

FAX:03-5218-2535

mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp



[HP](#)

TAC・出向く活動パワーアップ大会 2025「大会宣言」

我々TACは、

- 一、担い手とともに、新たな技術と知恵で、持続可能な農業を創造します。
- 一、JAグループの総合力を結集し、多様なニーズに応えます。
- 一、地域社会を守るため、「食」と「農」をつなぐ架け橋となります。

★第2・第4水曜を基本に定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★

※お休み等で配信日に変更となることもございます。ご了承ください。